

ミライ志向のオンリーワン校目指す神戸山手グローバル中学校

今年で100周年の神戸山手女子中学校（神戸市）が次の100年に向けた大改革として、25年度からの共学化とグローバル化を発表しました。合わせて校名も「神戸山手グローバル中学校」に変更されます。激しい社会変化の中、ジェンダーレス化とグローバル化を軸に教育のあり方を検討し、インターナショナルスクールな要素を持ち合わせた新時代対応の進学校という、これまでにないオンリーワン校を目指していきます。

海外ルーツの子供もアジアを中心に積極的に受け入れる予定で、そのために学生寮以上の設備を備えた学生マンションも用意されています。日本語に慣れていない海外ルーツの子供たちのために同時通訳イヤホンを活用し、数学や理科など、日本語では理解しづらい専門用語の多い教科も安心して受けられるよう準備が進んでおり、早くもこの秋には中国から16人の転入生が入学予定です。

共学となるのは「グローバル選抜探究コース」です。このコースは学校のグローバル化を見据えて昨年にスタートしています。このコースでは、英語の授業は週10時間以上で、課外活動を含めるとインターナショナルスクールに近いものになっています。担任は日本人とネイティブの教員2人体制なのが特徴です。中1段階でリスニング力は、CEFRに換算するとほぼ全員が高校生レベルとなっており、留学経験がなくても英検2級に合格する生徒も出始めて、早くも成果につながっています。

学習面以外では、今年度加入率が100%になった活発なクラブ活動も注目点です。インターハイ常連の陸上競技部の他にも、人気のeスポーツを含むデータサイエンス部や広報部に加え、今年は新しくスポーツライミング部や中国語部ができています。クラブ活動も貴重な教育の場と考える同校らしさがうかがえます。共学化・グローバル化でさらに盛り上がることでしょう。

国際都市である神戸に誕生するオンリーワン校の「神戸山手グローバル中学校」。今から通えるミライの学校とも言えます。子供たちが社会に出る頃のミライを見据えた大きなチャレンジに期待しています。